

老年看護学方法論Ⅰ	2年・前期	2単位	准教授 石久保雅浩
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210702

1. 授業のねらい・概要

本講義は、加齢に伴う身体機能の低下や心理・精神、社会的変化が及ぼす生活機能への影響を理解し、高齢者の生活機能、特に6つの機能を整えるための知識および基本技術を修得する。さらに、老年期を生きる人の健康保持増進およびQOLに向けた援助について学習する。

2. 学修の到達目標

1. 高齢者の加齢に伴う変化が生活に及ぼす影響を理解する。
2. 生活機能のコアとなる6つの機能についての専門的知識・技術を理解する。
3. 老年看護学の基本技術を修得する。
4. 状況に応じた看護技術の提供を考えることができる。

3. 授業の進め方

授業内容は、6つのコアとなる生活機能、（コミュニケーション・食事・身じたく・排泄・活動・休息）を中心にアセスメントと看護ケアについて学ぶ。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	加齢によって起こってくる生活の変化	講義	予習：身近な高齢者やマスメディアから加齢についてイメージをつけておく 復習：講義を振り返り、加齢に伴う生活の変化の概要をまとめる	石久保雅浩
2	正常老化と病的加齢変化	講義	予習：病院や施設の高齢者と地域で行動する高齢者の違いを考える 復習：正常老化現象と疾病等から変化する加齢現象について、両者の違いを振り返る	石久保
3	コミュニケーション（言語障害 難聴）	講義	予習：身近な高齢者同士の会話やマスメディアに出演している高齢者の会話を見聞きしておく 復習：加齢に伴う高齢者のコミュニケーションの変化について具体的に理解する	石久保
4	コミュニケーション障害がある高齢者の看護	講義	予習：高齢者のコミュニケーションの変化について具体的に振り返っておく 復習：高齢者のコミュニケーション障害について理解するとともに、その援助方法を振り返る	石久保
5	食生活（食事摂取、嚥下障害など）	講義	予習：加齢に伴う咽頭・喉頭部的変化について解剖学的に振り返っておく 復習：高齢者の食事摂取時の注意点、嚥下に伴う障害について、具体的に振り返る。	石久保
6	摂食嚥下障害等のある高齢者の看護	講義	予習：加齢に伴う咽頭・喉頭部的変化と起こり得る障害について振り返っておく 復習：摂食嚥下障害がある場合の対応や看護介入の技法を振り返る	石久保
7	身じたく（清潔、整容、身だしなみ）	講義	予習：加齢に伴う関節可動域の変化について具体的に振り返っておく 復習：加齢に伴う粗大運動性や巧緻性の変化について、各関節可動域別に振り返る	石久保
8	清潔援助が必要な高齢者の看護	講義	予習：加齢に伴う各関節可動域の変化を振り返るとともに、精神面でも高齢者の清潔援助が必要な理由を考えておく 復習：加齢に伴い、身体的、精神的に清潔	石久保

			援助が必要であることを振り返り、具体的な看護介入の技法をまとめる	
9	排泄（排尿・排便）	講義	予習：解剖学的な消化機能の働きを振り返る。また、加齢に伴う各関節可動域の変化や筋力の低下等に伴う排泄への影響を考える 復習：加齢に伴う解剖学的変化、体幹、四肢の加齢に伴う変化、排泄障害が社会的に及ぼす影響を振り返る（閉じこもりなど）	石久保
10	排泄機能が低下した高齢者の看護	講義	予習：加齢に伴う消化機能の変化、身体的、精神的、社会的変化を振り返っておく 復習：羞恥心を考慮する必要性を理解し、排泄に伴う配慮や看護介入の技法をまとめる	石久保
11	活動と休息	講義	予習：高齢者の活動とは、また、休息とは何かをイメージしておく 復習：加齢に伴う活動面での変化、フレイルやロコモティブシンドローム、サルコペニアについて振り返る。高齢者の休息が必要な理由について振り返る	石久保
12	睡眠障害のある高齢者の看護	講義	予習：高齢者の睡眠の特徴について振り返るとともに日常生活への影響を考える 復習：高齢者の四大睡眠障害を振り返る。また、高齢者の睡眠の特徴を理解し、看護介入の技法をまとめる	石久保
13	認知機能障害を持つ高齢者の看護	講義	予習：加齢に伴う認知機能の低下について考えておく 復習：認知機能障害の種類、程度を振り返り、看護介入の技法をまとめる	石久保
14	高齢者の社会参加	講義	予習：現在の高齢者の社会参加についてイメージしておく 復習：わが国の高齢者の社会参加への考え方を理解するとともに、看護の介入方法を振り返る	石久保
15	老年期の経済状況・まとめ	講義	予習：加齢に伴う収入の変化や高齢者の経済状況についてイメージしておく 復習：高齢者の経済状況や社会資源等を振り返る	石久保

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席をした者）100%

6. テキスト・参考文献

教科書：1) ナーシンググラフィカ 高齢者の健康と障害 老年看護学① メディカ出版
2) ナーシンググラフィカ 高齢者看護の実践 老年看護学② メディカ出版

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

指定された範囲の予習を毎回1時間は行うこと。

8. 受講上の留意事項

老年看護学実習の先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックして返却する。内容の不備なものは再提出を求める。
定期試験の解答は試験直後口頭でフィードバックするか、後日掲示し提示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合は進級不可となる。

1 1. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして、講義を行う。